

4月10日に種まきを行ってから約1ヶ月が経ち、畑に定植できる頃となりました。今回は育苗と定植についてです。



植え時の苗



植穴とマルチの間をふさぐ

Vol.2 藍が大きくなってきました

育苗のポイント

1. 芽が多く出過ぎている所を間引きます。1マス4~5本にします。手で抜く方法もありますが、残す芽を誤って抜いたり、根を傷めることがあるため、小さいハサミで根元から切る方法がオススメです。

2. 水やりをマメに行ってください。蒸れを防ぐために朝の水やりがオススメです。藍は水を多く必要とし、乾燥に弱い植物です。日当たりの良い場所で育てますが、ずっと日向だと土がすぐに乾燥してしまいます。半日くらい日に当てたら、セルトレイを日陰に移動させるのも一つの方法です。

定植のポイント

水持ちを良くしたり、雑草を生えにくくするために畝を立て、ビニールマルチを用いた定植をオススメします。(例、高さ15cm、幅60センチ、1条植え、株間30cm、黒マルチ使用)

植えた後には、植穴とマルチの間を土でふさぐと良いです。(太陽光で熱くなったマルチ内の空気が苗に当たらないようにするため)

定植後約2週間で根が張ってきますので、それまではマメに水やりします。